

第 3 章 調査票

市民活動に関するアンケート調査

藤沢市では、「みんなとまちが元気になる～活力あふれる市民活動のまち藤沢」をビジョンに掲げ、市民活動の推進に関する施策を総合的かつ計画的に実施するため、市民活動推進計画を策定しています。

この度、市民活動の現状及び日頃の暮らしの中で皆さまがどのように感じていらっしゃるかをお聞かせいただくために、アンケート調査を実施したいと考えております。

何かとお忙しいこととは存じますが、この調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

2015年（平成27年）10月

藤沢市長
鈴木 恒夫

《ご記入にあたって》

1. 調査の対象者は、満15歳から80歳までの市民4,000名を無作為に抽出させていただきました。
2. 質問の中の『あなた』とは、封筒の宛名のご本人を指しますので、質問にはその方自らお答えください。
3. 回答は、該当する番号を○で囲んでください。回答の数は質問によって異なりますので、ご注意ください。また、選択肢や質問によっては具体的にご記入いただくものもあります。
4. ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒（切手不要）にて、**11月2日（月）まで（必着）**にご返送ください。
5. お答えいただいた内容は統計的に処理を行い、本調査の目的以外に使用したり、個人の内容を公表することは一切ありません。
6. この調査についてご不明な点がありましたら、次の問い合わせ先へご連絡ください。

問い合わせ先

藤沢市役所 市民自治部市民自治推進課

電話 0466-25-1111（代表）

FAX 0466-50-8407

第3章 調査票

※本アンケート調査にお答えいただく前に、以下に記載されている、地域活動、市民活動及び市民活動団体（NPOを含む）、ボランティアについてのご説明をお読みください。

1 地域活動とは

藤沢市では、市民の皆さまが地域において様々な活動を行っています。本アンケート調査においては、それらを総称して「地域活動」といたします。

主な地域活動：

- ・自治会・町内会
- ・学校やPTA・子ども会等
- ・老人クラブ
- ・地域団体
- ・ボランティア
- ・市民活動団体（NPOを含む）
- ・公民館などのサークルや講座 等

2 市民活動、市民活動団体（NPOを含む）とは

本アンケート調査では、地域活動のうち、市民活動団体（NPOを含む）に関する活動を「市民活動」といたします。

「市民活動」：市民が公益的な目的を持って自主的に活動している姿を指し、個人の活動からグループでの活動まで、様々な形があります。

「市民活動団体（NPOを含む）」：市民活動を継続的に行っている組織を指します。市民活動団体が法人となる場合、特定非営利活動促進法に基づき、特定非営利活動法人（NPO法人）となるのが一般的ですが、最近では一般社団法人や一般財団法人として活動を始める組織も増えています。

市民活動団体の活動の種類：介護・看護等の福祉に関する事業を行う団体やパソコン教室の運営等の情報化に関する事業を行う団体をはじめ、教育・研究、芸術・文化・スポーツ、環境保全、災害救助支援など、様々な分野の活動があります。

3 ボランティアと市民活動団体（NPOを含む）の違いとは

ボランティア：個人の思い、個人のスタンスを表します。よりよい社会づくりのために、個人が自ら進んで行う、金銭的な見返りを求めない活動とすることができます。労働の対価を求めない代わりに、活動に関わる個人の自発性に重点が置かれます。個人単独で行うこともありますが、グループで行うもの、あるいは市民活動団体（NPOを含む）や行政に関わって行うものなどがあります。

市民活動団体（NPOを含む）：組織の社会的な役割を意識した言葉であり、組織のスタンスを表します。社会的使命の達成のために活動をする組織であり、政府や企業とは異なった立場から社会的なサービスを提供し、社会的な課題の解決をめざすものです。

問1 あなた自身のことについて

【全員の方にお聞きします】

問1-1 あなたの性別を記入してください。(一つに○)

1. 男 2. 女

【全員の方にお聞きします】

問1-2 あなたの年齢を記入してください。

() 歳

【全員の方にお聞きします】

問1-3 あなたの独身・既婚を記入してください。(一つに○)

1. 独身 2. 既婚

【全員の方にお聞きします】

問1-4 あなたが住んでいる地区を記入してください。(一つに○)

1. 片瀬 2. 鵜沼 3. 辻堂 4. 村岡 5. 藤沢 6. 明治
7. 善行 8. 湘南大庭 9. 六会 10. 湘南台 11. 遠藤
12. 長後 13. 御所見 14. わからない

【全員の方にお聞きします】

問1-5 あなたの職業は次のうち、どれにあたりますか。(一つに○)

1. 会社員 2. 自営業・家族従業者 3. 公務員 4. 団体職員
5. 派遣・契約社員、パートタイム従業者、アルバイト 6. 会社役員・団体役員
7. 主婦・主夫 8. 学生 9. 無職(7, 8を除く) 10. その他

【全員の方にお聞きします】

問1-6 あなたの世帯全体の年間収入(税込み額)は、およそどのくらいですか。(一つに○)

1. 300万円未満
2. 300万円以上～500万円未満
3. 500万円以上～600万円未満
4. 600万円以上～800万円未満
5. 800万円以上～1,000万円未満
6. 1,000万円以上～1,500万円未満
7. 1,500万円以上～2,000万円未満
8. 2,000万円以上

問2 地域活動について

【全員の方にお聞きします】

問2-1 次の地域活動のうち、このアンケートが届く前からその活動の存在を知っていたかどうかをお選びください。(一つに○)

「知っていた」と回答した方は、その活動を行う団体を知っている場合、団体名をわかる範囲でお書きください。(いくつでもお書きください)

地域活動の種類	①知っていたか	②団体名
自治会・町内会	1. 知っていた 2. 知らなかった	
学校・PTA・子ども会等	1. 知っていた 2. 知らなかった	
老人クラブ	1. 知っていた 2. 知らなかった	
地域団体(※)	1. 知っていた 2. 知らなかった	
ボランティア	1. 知っていた 2. 知らなかった	
市民活動団体 (NPOを含む)	1. 知っていた 2. 知らなかった	
公民館などのサークルや講座	1. 知っていた 2. 知らなかった	
その他	1. 知っていた 2. 知らなかった	

※地域団体とは、ここでは市民センター・公民館を中心とした地区社会福祉協議会や民生委員児童委員協議会、郷土づくり推進会議、地区交通安全対策協議会、地区防犯協会、地区生活環境協議会、地区青少年育成協力会等を指します。

【全員の方にお聞きします】

問2-2 あなたの地域活動への参加の頻度をお選びください。(一つに○)

また参加の理由についてお選びください。(あてはまるものすべてに○)

種類	①参加の頻度	②参加の理由
自治会・ 町内会	1. 参加していない 2. 年に数回 3. 月に1～2回 4. 月に3～4回 5. 月に5回以上	1. 自己啓発や自らの成長につながると考えるため 2. 困っている人を支援したいという気持ち 3. 職業人や住民としての責務を果たすため 4. 自分や家族が関係している活動への支援 5. 知人や同僚等からの勧め 6. 自分が抱えている社会問題の解決に必要なだから 7. 社会的に評価されるため 8. その他
学校・P TA・子 ども会等	1. 参加していない 2. 年に数回 3. 月に1～2回 4. 月に3～4回 5. 月に5回以上	1. 自己啓発や自らの成長につながると考えるため 2. 困っている人を支援したいという気持ち 3. 職業人や住民としての責務を果たすため 4. 自分や家族が関係している活動への支援 5. 知人や同僚等からの勧め 6. 自分が抱えている社会問題の解決に必要なだから 7. 社会的に評価されるため 8. その他
老人クラ ブ	1. 参加していない 2. 年に数回 3. 月に1～2回 4. 月に3～4回 5. 月に5回以上	1. 自己啓発や自らの成長につながると考えるため 2. 困っている人を支援したいという気持ち 3. 職業人や住民としての責務を果たすため 4. 自分や家族が関係している活動への支援 5. 知人や同僚等からの勧め 6. 自分が抱えている社会問題の解決に必要なだから 7. 社会的に評価されるため 8. その他
地域団体	1. 参加していない 2. 年に数回 3. 月に1～2回 4. 月に3～4回 5. 月に5回以上	1. 自己啓発や自らの成長につながると考えるため 2. 困っている人を支援したいという気持ち 3. 職業人や住民としての責務を果たすため 4. 自分や家族が関係している活動への支援 5. 知人や同僚等からの勧め 6. 自分が抱えている社会問題の解決に必要なだから 7. 社会的に評価されるため 8. その他

第3章 調査票

<p>ボランティア</p>	<p>1. 参加していない 2. 年に数回 3. 月に1～2回 4. 月に3～4回 5. 月に5回以上</p>	<p>1. 自己啓発や自らの成長につながると考えるため 2. 困っている人を支援したいという気持ち 3. 職業人や住民としての責務を果たすため 4. 自分や家族が関係している活動への支援 5. 知人や同僚等からの勧め 6. 自分が抱えている社会問題の解決に必要なだから 7. 社会的に評価されるため 8. その他</p>
<p>市民活動団体（NPOを含む）</p>	<p>1. 参加していない 2. 年に数回 3. 月に1～2回 4. 月に3～4回 5. 月に5回以上</p>	<p>1. 自己啓発や自らの成長につながると考えるため 2. 困っている人を支援したいという気持ち 3. 職業人や住民としての責務を果たすため 4. 自分や家族が関係している活動への支援 5. 知人や同僚等からの勧め 6. 自分が抱えている社会問題の解決に必要なだから 7. 社会的に評価されるため 8. その他</p>
<p>公民館などのサークルや講座</p>	<p>1. 参加していない 2. 年に数回 3. 月に1～2回 4. 月に3～4回 5. 月に5回以上</p>	<p>1. 自己啓発や自らの成長につながると考えるため 2. 困っている人を支援したいという気持ち 3. 職業人や住民としての責務を果たすため 4. 自分や家族が関係している活動への支援 5. 知人や同僚等からの勧め 6. 自分が抱えている社会問題の解決に必要なだから 7. 社会的に評価されるため 8. その他</p>
<p>その他</p>	<p>1. 参加していない 2. 年に数回 3. 月に1～2回 4. 月に3～4回 5. 月に5回以上</p>	<p>1. 自己啓発や自らの成長につながると考えるため 2. 困っている人を支援したいという気持ち 3. 職業人や住民としての責務を果たすため 4. 自分や家族が関係している活動への支援 5. 知人や同僚等からの勧め 6. 自分が抱えている社会問題の解決に必要なだから 7. 社会的に評価されるため 8. その他</p>

【問2-2、「①参加の頻度」で2～5に○を一つでもつけた方にお聞きします】

問2-3 あなたが地域活動を行う場として利用している施設（場所）はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市民センター・公民館
2. 市民の家
3. 自治会館・地区集会所
4. 保育園・幼稚園
5. 地域子供の家・児童館
6. 小学校、中学校、高等学校、専門学校
7. 大学、大学院
8. 市民活動推進センター
9. 湘南台市民活動プラザ
10. 地区ボランティアセンター
11. 地域の縁側
12. 福祉施設・介護施設
13. いきいきシニアセンター（湘南なぎさ荘、やすらぎ荘、こぶし荘）
14. 老人憩いの家・老人ふれあいの家
15. 活動団体の借り上げた場所等
16. 教会、お寺、神社
17. 民間のホール、民間団体（会社）
18. 喫茶店、レストラン、ホテル
19. 個人の自宅など
20. その他（ ）

【問2-2、「①参加の頻度」で2～5に一つでも○をつけた方にお聞きします】

問2-4 あなたが地域活動を行う場として今後利用したい施設（場所）はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 市民センター・公民館
2. 市民の家
3. 自治会館・地区集会所
4. 保育園・幼稚園
5. 地域子供の家・児童館
6. 小学校、中学校、高等学校、専門学校
7. 大学、大学院
8. 市民活動推進センター
9. 湘南台市民活動プラザ
10. 地区ボランティアセンター
11. 地域の縁側
12. 福祉施設・介護施設
13. いきいきシニアセンター（湘南なぎさ荘、やすらぎ荘、こぶし荘）
14. 老人憩いの家・老人ふれあいの家
15. 活動団体の借り上げた場所等
16. 教会、お寺、神社
17. 民間のホール、民間団体（会社）
18. 喫茶店、レストラン、ホテル
19. 個人の自宅など
20. その他（ ）

【全員の方にお聞きします】

問2-5 地域活動に参加することに妨げとなることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 時間がない
2. 気恥ずかしい
3. 自分の生活で精一杯
4. 仕事が忙しい
5. 趣味や余暇活動を優先
6. 活動内容への不満
7. 活動内容がわからない
8. 身体状況から参加が難しい
9. 子育てや介護が忙しい
10. 活動の場が自宅から離れているなど不便
11. 地区外で活動している
12. 興味や関心がない
13. 参加の機会がない
14. その他（ ）

問3 市民活動について

【全員の方にお聞きします】

問3-1 今後、市民活動（市民活動団体（NPOを含む）の活動）に参加したいですか。（一つに○）

1. はい
2. いいえ

【問3-1で「1. はい」に○をつけた方にお聞きします】

問3-2 次のうち、参加したい市民活動の分野をお選びください。

※震災関連とそれ以外で分けてお答えください。「震災関連」とは、震災の被災者・被災地支援などのための市民活動を指し、「震災関連を除く」とは、それ以外の市民活動を指します。

	①震災関連	②震災関連を除く
保健・医療・福祉	1	1
教育・研究	2	2
まちづくり・まちおこし	3	3
芸術・文化・スポーツ	4	4
自然・環境保全	5	5
災害救助支援	6	6
地域安全	7	7
人権・平和	8	8
国際協力・交流	9	9
子ども・青少年育成	10	10
雇用促進・雇用支援	11	11
その他 (具体的に)	12 (具体的に；)	12 (具体的に；)

【問3-1で「1. はい」に○をつけた方にお聞きします】

問3-3 市民活動に参加する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自己啓発や自らの成長につながると考えるため
2. 困っている人を支援したいという気持ち
3. 職業人や住民としての責務を果たすため
4. 自分や家族が関係している活動への支援
5. 知人や同僚等からの勧め
6. 自分が抱えている社会問題の解決に必要なだから
7. 社会的に評価されるため
8. その他 (具体的に：)

【全員の方にお聞きします】

問3-4 市民活動に参加することに妨げとなることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 時間がない
2. 気恥ずかしい
3. 自分の生活で精一杯
4. 仕事が忙しい
5. 趣味や余暇活動を優先
6. 活動内容への不満
7. 活動内容がわからない
8. 身体状況から参加が難しい
9. 子育てや介護が忙しい
10. 活動の場が自宅から離れているなど不便
11. 地区外で活動している
12. 興味や関心がない
13. 参加の機会がない
14. その他 ()

【全員の方にお聞きします】

問3-5 あなたは市民活動団体に期待することはありますか。(一つに○)

1. はい 2. いいえ

【問3-5で「1. はい」に○をつけた方にお聞きします】

問3-6 あなたが市民活動団体に期待することは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 行政では行えない柔軟なサービスを提供してほしい
 2. 社会的な問題を解決してほしい 3. 地域における課題解決を行ってほしい
 4. 個人的な問題を解決してほしい 5. 地域におけるイベントに参加してほしい
 6. 地域における様々な交流の中心的な役割を担ってほしい
 7. その他(具体的に:)

【問3-5で「2. いいえ」に○をつけた方にお聞きします】

問3-7 あなたが市民活動団体に期待することがないのはなぜですか。(あてはまるもの全てに○)

1. 市民活動がよくわからないから 2. 身近に市民活動団体がないから
 3. 市民活動団体の組織体制(財政基盤・事務能力等)が弱いから
 4. 市民活動団体の情報発信力・事業実行力が弱いから
 5. 市民活動団体の活動内容が気に入らないから 6. 市民活動団体に興味がないから
 7. その他(具体的に:)

【全員の方にお聞きします】

問3-8 市民活動団体が活動するときに、妨げになると思うことはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市民活動を行う場所が少ない
 2. 市民活動に関する情報提供や情報発信が少ない
 3. 市民活動を行いたい人と受け入れる人を結びつける人(コーディネーターや団体)が少ない
 4. 市民活動の学習機会が少ない
 5. 市民活動のための休暇・休職制度が少ない
 6. 市民活動に対する経済的な支援が少ない
 7. 特になし
 8. その他(具体的に:)

【全員の方にお聞きします】

問3-9 市民活動について、市にどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市民活動を行う場所を充実すべき 2. 市民活動に関する情報提供や情報発信を充実すべき
 3. 市民活動を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき
 4. 市民活動の学習機会を充実すべき 5. 市民活動のための休暇・休職制度の普及を行うべき
 6. 市民活動に対する経済的な支援を行うべき 7. 特になし
 8. その他(具体的に:)

問4 ボランティア活動について

【全員の方にお聞きします】

問4-1 あなたはボランティア活動に関心がありますか。(一つに○)

※東日本大震災発生を期に全国的にボランティア活動にさらに関心が寄せられていることを踏まえた質問となります。

1. 関心がある (東日本大震災発生前から関心があった)
2. 関心がある (東日本大震災発生後、関心を持つようになった)
3. あまり関心がない
4. まったく関心がない
5. その他 (具体的に: _____)

【全員の方にお聞きします】

問4-2 あなたは、ボランティア活動をしたことがありますか。(一つに○)

※東日本大震災発生を期に全国的にボランティア活動にさらに関心が寄せられていることを踏まえた質問となります。

1. したことがある (東日本大震災発生前からしていた)
2. したことがある (東日本大震災発生後、するようになった)
3. したことがない

【問4-2で「1～2. したことがある」に○をつけた方にお聞きします】

問4-3 あなたは平成26年度(平成26年4月～平成27年3月)にどのような分野のボランティア活動に参加したことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

※震災関連とそれ以外で分けてお答えください。「震災関連」とは、震災の被災者・被災地支援などのためのボランティア活動を指し、「震災関連を除く」とは、それ以外のボランティア活動を指します。

	①震災関連	②震災関連を除く
保健・医療・福祉	1	1
教育・研究	2	2
まちづくり・まちおこし	3	3
芸術・文化・スポーツ	4	4
自然・環境保全	5	5
災害救助支援	6	6
地域安全	7	7
人権・平和	8	8
国際協力・交流	9	9
子ども・青少年育成	10	10
雇用促進・雇用支援	11	11
平成26年度はボランティア活動に参加していない。	12	12
その他 (具体的に)	13 (_____)	13 (_____)

【問4-2で「1~2. したことがある」に○をつけた方にお聞きします】

問4-4 あなたにとって、ボランティア活動に参加する理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

1. 自己啓発や自らの成長につながると考えるため
2. 困っている人を支援したいという気持ち
3. 職業人や住民としての責務を果たすため
4. 自分や家族が関係している活動への支援
5. 知人や同僚等からの勧め
6. 自分が抱えている社会問題の解決に必要なだから
7. 社会的に評価されるため
8. その他(具体的に: _____)

【全員の方にお聞きします】

問4-5 ボランティア活動に参加することに妨げとなることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ボランティア活動を行いたいが、十分な情報がない
2. 活動に参加する際の経費(交通費等)があり、経済的負担が大きい
3. 活動に参加しても、実際に役に立っているとは思えない
4. 活動に参加する時間がない
5. 活動に参加するために、休暇取得等を行う必要がある
6. ボランティアを受け入れる団体・NPO等に対する不信感があり、信頼度に欠ける
7. 活動を行う際の保険が不十分
8. 特に妨げとなることはない
9. その他(具体的に: _____)

【全員の方にお聞きします】

問4-6 あなたが今後参加したいボランティア活動の分野を選んでください(あてはまるものすべてに○)

※すでに参加したことがあり、引き続き参加したい分野も含めてお答えください。

1. 保健・医療・福祉
2. 教育・研究
3. まちづくり・まちおこし
4. 芸術・文化・スポーツ
5. 自然・環境保全
6. 災害救助支援
7. 地域安全
8. 人権・平和
9. 国際協力・交流
10. 子ども・青少年育成
11. 雇用促進・雇用支援
12. ボランティア活動に参加したいと思わない
13. その他(具体的に: _____)

【全員の方にお聞きします】

問4-7 ボランティア活動について、市にどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. ボランティアを受け入れる団体・NPO 等に関する情報提供や情報発信を充実すべき
2. ボランティア活動を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき
3. ボランティア活動の学習機会を充実すべき
4. ボランティア保険への加入推進等、事故への対応を整備すべき
5. ボランティア活動のための休暇・休職制度の普及を行うべき
6. ボランティアを受け入れる団体・NPO等に対する経済的な支援を行うべき
7. 特になし
8. その他(具体的に: _____)

問5 寄付について

本アンケート調査においては、以下の2つの要件を満たすものを「寄付金」といいます。

- ① 支出する側に任意性があること
金銭寄付金(時には物品も含む。)を出す人自身が、その金銭寄付金を出すか出さないかを自由に決定でき、かつ、その金額も自由に決めることができること。
- ② 直接の反対給付がないこと
金銭寄付金(時には物品も含む。)を出した人が、その支出した金銭寄付金の代わりに、一般に流通するような商業的価値を持つ商品やサービスなどを受け取らないこと。(ふるさと納税に伴う返礼品は直接の反対給付に含めません。)

【全員の方にお聞きします】

問5-1 あなたは寄付(募金、現物寄付等)をしたことがありますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 金銭による寄付をしたことがある
2. 現物等による寄付をしたことがある
3. その他(具体的に: _____)
4. 寄付をしたことがない

【問5-1で「1~3. 寄付をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします】

問5-2 平成26年度(平成26年4月~平成27年3月)に寄付をした金額(金銭による寄付のみ)、金銭による寄付をした回数、現物等による寄付をした回数をご記入ください。

※震災関連とそれ以外で分けてお答えください。「震災関連」とは、震災の被災者・被災地支援などのための寄付を指し、「震災関連を除く」とは、それ以外の寄付を指します。

※寄付額については、あなた個人の金額と世帯全体の金額に分けてお答えください。

※平成26年度は寄付をしていない場合は、「0」とお答えください。

		①（年間）寄付金額	②（年間）金銭寄付回数	③（年間）現物等寄付回数
①震災関連	①あなた	円	回	回
	②世帯全体	円		
②震災関連を除く	①あなた	円	回	回
	②世帯全体	円		

【問5-1で「1～3. 寄付をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします】

問5-3 あなたが、寄付を行った方法はありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 街頭募金
2. 設置されている募金箱（「1. 街頭募金」を除く）
3. 銀行等での振込み・口座引き落とし
4. 直接手渡し
5. クレジットカード等の利用
6. 現物寄付（品物の郵送等）
7. 寄付付商品の購入
8. マッチングギフト（※1）
9. ネット（クリック）募金（※2）
10. ふるさと納税
11. 遺贈による寄付
12. その他（具体的に： _____）

※1「マッチングギフト」とは、企業や団体などが社会貢献のために寄付や義捐金を募る際、寄せられた金額に対して企業側が金額の上乗せを行い、寄付金額を増やした上で同じ寄付対象に寄付をするという取り組み。

※2「クリック募金」とは、ウェブページ内の決められた箇所をクリックすると、個人や企業がクリックされた回数に応じて環境問題や人道支援などに取り組む団体に現金を送金する仕組み。

【問5-1で「1～3. 寄付をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします】

問5-4 あなたが、平成26年度（平成26年4月～平成27年3月）に寄付をした団体はどこですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 自治会・町内会
2. 市内の法人格がない市民活動団体
3. 市外の法人格がない市民活動団体
4. 市内のNPO法人
5. 市外のNPO法人
6. 市内の政治団体、宗教法人
7. 市外の政治団体、宗教法人
8. 赤い羽根共同募金・日本赤十字社
9. 上記以外の非営利法人（市内）
10. 上記以外の非営利法人（市外）
11. 上記以外の法人（非営利法人）
12. 都道府県・市町村
13. どこに寄付したかわからない
14. 平成26年度は寄付をしていない

第3章 調査票

【問5-1で「1～3. 寄付をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします】

問5-5 あなたが、平成26年度（平成26年4月～平成27年3月）に寄付をした分野はどちらですか。（あてはまるものすべてに○）

※震災関連とそれ以外で分けてお答えください。「震災関連」とは、震災の被災者・被災地支援などのための寄付を指し、「震災関連を除く」とは、それ以外の寄付を指します。

	①震災関連	②震災関連を除く
保健・医療・福祉	1	1
教育・研究	2	2
まちづくり・まちおこし	3	3
芸術・文化・スポーツ	4	4
自然・環境保全	5	5
災害救助支援	6	6
地域安全	7	7
人権・平和	8	8
国際協力・交流	9	9
子ども・青少年育成	10	10
雇用促進・雇用支援	11	11
平成26年度は寄付をしていない	12	12
その他 （具体的に）	13 ()	13 ()

【問5-1で「1～3. 寄付をしたことがある」に○をつけた方にお聞きします】

問5-6 あなたが寄付をした理由はどのようなものですか。（あてはまるものすべてに○）

1. 社会の役に立ちたいと思ったから
2. 自治会・町内会の活動の一環として
3. 職場の取組の一環として
4. 知人や同僚などからの勧め
5. 自分や家族が関係している活動への支援
6. 自分が抱えている社会問題の解決に必要なだったから
7. 自分が支援したい団体等だったから
8. その他（具体的に：)

【全員の方にお聞きします】

問5-7 あなたが寄付をするにあたり妨げになることはありますか。（あてはまるものすべてに○）

1. 寄付を行う先（団体等）の十分な情報がない
2. 寄付の手続きがわかりにくい
3. 寄付をしても役に立っていないと思えない
4. 寄付先の団体等に対する不信感があり、信頼度に欠ける
5. 特に妨げになることはない
6. その他（具体的に：)

【全員の方にお聞きします】

問5-8 寄付促進のために、市にどのようなことを望みますか。(あてはまるものすべてに○)

1. 寄付に関する情報提供や情報発信を充実すべき
2. 寄付を促進する制度を充実すべき
3. 寄付を行いたい人と、受け入れる人を結びつける人(団体等)を養成・支援すべき
4. 寄付の学習機会を充実すべき
5. 特になし
6. その他(具体的に: _____)

問6 その他

【全員の方にお聞きします】

問6 その他、何かご意見等がございましたらお書きください。

アンケート調査は以上です。ご協力ありがとうございました。

**藤沢市
市民活動に関するアンケート調査
報告書**

発行日／平成27年12月

発行／藤沢市市民自治部市民自治推進課

〒25-8601 神奈川県藤沢市朝日町1-1

TEL 0466-50-3516

FAX 0466-50-8407